

I 基本情報	
利用者情報	
性別	1. 男性 2. 女性
年齢	1. 30才以下 2. 31~50才 3. 51~65才 4. 65才以上
世帯人数	1. 1人 2. 2人 3. 5人以下 4. 6~10人 5. 11人以上
車両保有状況	1. 乗用車(台) 2. トラック(台)
機械所有	トラクター その他機械()
経営内容	
所有果樹園	1. 借地/所有していない 2. 3ha以下 3. 3ha~6ha 4. 6ha~10ha 5. 10ha~50ha 6. 50ha以上
兼業/専業	1. 専業 2. 兼業
季節労働者雇用	1. 雇用している(人) 2. 雇用していない
栽培品目①	品 目() 出荷先() 価 格(TL/kg)
栽培品目②	品 目() 出荷先() 価 格(TL/kg)
男性と女性の作業内容の違い	男性の行う作業() 女性の行う作業()
II 効率性向上	
従来との比較	
実感度合い	1. 効率が下がった 2. 変わらない 3. 効率が上がった
理由	
労働負担	1. 大変になった 2. 変わらない 3. 楽になった
理由	
兼業状況	1. 収入が増えた 2. かわらない 3. 収入が減った
理由(1を選んだ人)	1. 農業以外の収入が増えたため 2. 農業収入が増えたため
短縮時間	1. 従来と比べて大幅な時間短縮を実感した 2. 従来と比べて時間短縮を実感した 3. 変化なし
理由	
経済性	
収穫量、品質向上の実感	1. 果実の重量が増えた 2. 収穫個数が増えた 3. グレードが上がった 4. 変わらない
機械購入意欲	1. 高く買えないし無料レンタルでも使いたくない 2. 高く買えないがレンタルだと使いたい 3. ローンで買いたい 4. 現金で買いたい
3と4を選んだ人のみ 購入資金	1. 銀行借入/割賦販売 2. 自己資金 3. 親戚(グループ)の資金
2を選んだ人のみ レンタル料金	1日のレンタル料金が()リラ以下だと利用してみたい
除草剤削減(草刈り機のみ)	1. 除草剤を少なく使った 2. 例年と変わらない
安全性	
安全性	1. 脚立より安全に作業できた 2. 脚立と変わらない/より危ない 3. 草刈カマより安全に作業できた 4. 草刈カマと変わらない/より危ない
農作業中の 事故、ケガの経験	1. 今までに事故やケガの経験がある (内容:) 2. 無い
操作性	1. 高所作業者は女性や高齢者でも操作問題ない 2. 高所作業者は女性や高齢者には操作は危ない 3. 乗用草刈り機は女性や高齢者でも操作問題ない 4. 乗用草刈り機は女性や高齢者には危ない 5. 自走式草刈り機は女性や高齢者でも操作問題ない 6. 自走式草刈り機は女性や高齢者には危ない
警告ラベルの見やすさ	1. よくわかった 2. よくわからなかった
ヒヤリハット体験	1. あった(内容;) 2. 無かった
事故	1. あった(内容;) 2. 無かった

Kullanıcı isim	
I Temel bilgiler	
Kullanıcı bilgisi	
cinsiyet	1. Erkek 2. Kadın
Yaş	1. 30yaş altı 2. 31~50yaş 3. 51~65yaş 4. 65yaş üzeri
Aile birey sayısı	1. 1kişi 2. 2kişi 3. 5kişinin altı 4. 6~10kişi 5. 11kişi veya daha fazla
Araç sahipliği durumu	1. otomobil(adet) 2. Kamyon(adet)
Makine sahipliği durumu	Traktör Diğer makineler()
Yönetim içeriği	
sahip olduğu bahçe hakkında	1. Kiralanan arazi/Kendime ait değil 2. () dekar
Yan iş(Birden fazla)/Uzmanlık(Tek iş)	1. Yan iş(Birden fazla) 2. Uzmanlık (Tek iş)
Mevsimlik işçileri	1. İşe alıyorum(kişi) 2. İşe almadım
Ürettiği mal ①	Mal() Pazarlama yeri() Fiyat(TL/kg)
Ürettiği mal ②	Mal() Pazarlama yeri() Fiyat(TL/kg)
Erkek ve kadın işçilerin çalışma içeriği arasındaki fark	Erkeklerin çalışma içeriği (Budama: Hasat: Biçme:) Kadınların çalışma içeriği (Budama: Hasat: Biçme:)
II Makinenin etkileri	
Makine öncesi ile karşılaştırıldığında	
Kullandıktan sonra düşündükleriniz?	1. Verim azaldı 2. Değişmiyor 3. Verimlik arttı
Neden	
iş yükü	1. Daha zor oldu 2. Değişmiyor 3. Daha kolay oldu
Neden	
Ana iş olmadığı durumunda(birden fazla iş sahibi)	1. Gelir arttı 2. Değişmiyor 3. Gelir düştü
Neden (1'i seçenler)	1. Tarım dışı gelirlerin artması 2. Tarımsal gelirin artması nedeniyle
Kısalan zaman hakkında (Makine kullanımıyla)	1. Zamanın öncekinden çok daha kısa olduğunu anladım 2. Zamanın öncekinden kısa olduğunu anladım 3. Değişiklik yok
Neden	
Ekonomi	
mahsul verimi ,kalite izlenimi	1. Meyve ağırlığı arttı 2. Hasat sayısı arttı 3. Sınıf yükseldi 4. Değişmiyor
Makine alımı hakkındaki düşünceleriniz	1. Pahalı olduğu için satın alamam,ayrıca ücretsiz kiralama seçeneğini bile kullanmak istemiyorum 2. Pahalı olduğu için sat alamam ama kiralık olarak kullanmak isterim 3. Kredi ile satın almak istiyorum 4. Nakit olarak satın almak istiyorum
Sadece 3ve4ü seçenler için satın alma fonları hakkında	1. Banka kredileri/Taksitli satışlar 2. Kendi fonları 3. Akraba(grup) fonları
Sadece 2 seçenler için kira ücreti hakkında	Günlük kiralama fiyatı (TL)'ndan daha az ise bunu kullanmak istiyorum
Herbisit indirgeme (Sadece çim biçme makineleri)	1. Daha az herbisit kullandık 2. Her zamanki gibi, aynı
Emniyet	
Emniyet	1. Merdivene göre daha güvenli bir şekilde çalışabildim 2. Merdivenle aynı/Daha tehlikeli 3. Olaktan daha emniyetli çalıştım 4. Olakla aynıdır/Daha tehlikeli
Çiftlik çalışması sırasında kaza,yaralanma deneyimi	1. Şimdiye kadar kaza ve yaralanma tecrübem var (içerik:) 2. Yok
işletile bilme	1. Vinç,kadınlar ve yaşlılar tarafından kolaylıkla kullanılabilir (sorun yok) 2. Vinç,kadınlar ve yaşlılar için tehlikelidir 3. Binek ot biçme makinesi, kadınlar ve yaşlılar tarafından kolaylıkla kullanılabilir (sorun yok) 4. Binek ot biçme makinesi, kadınlar ve yaşlılar için tehlikelidir 5. Otomatik çalı kesme makinesi, kadınlar ve yaşlılar tarafından kolaylıkla kullanılabilir (sorun yok) 6. Otomatik çalı kesme makinesi,kadınlar yaşlılar için tehlikelidir
Güvenlik etiketleri kolaylıkla okunuyor	1. iyi anladım 2. iyi anlamadım
Tehlikeli diye düşündüğünüz bir durum oldu mu?	1. Var (içerik:) 2. Yok
Kaza	1. Var (içerik:) 2. Yok

2018 年 1 月 22 日

機材利用者アンケート結果

1. アンケートの趣旨

果樹収穫作業が終わり、初年度の機材利用が終了したタイミングにおいて、果樹用作業機導入の効果を検証する為、利用者アンケートを実施した。

2. 実施概要

(1) 実施者：黒海農業研究所（以下、KTAE）およびフジイコーポレーション(株)

(2) 対象者：KTAE および機材貸出先での機材利用者

<アンケートを実施した機材貸出先一覧>

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ・イルカドゥム地区 | ・メルズィフォン地区（農業会議所） |
| ・チャルシャンバ地区（桃生産者組合） | ・ボガズキョイ地区（カラン氏農場） |
| ・テルメ地区（りんご生産者組合） | ・イルヤスキョイ地区 |
| ・ベズィルキョプル地区 | ・トカット地区（トカット農業研究所） |

(3) 実施時期：2017 年 11 月 20 日～2018 年 1 月 9 日

(4) 実施方法：第 9 回現地渡航の際、KTAE と同行し機材貸出先を訪問、アンケートを記入してもらった後に回収した。訪問できなかった機材利用先については、後日現地傭人によりアンケートを実施・回収した。

3. 回収状況

アンケート実施数：27 名

同 回収数：27 票（有効票 27 票、無効票 0 票）

4. 表記について

本報告では、原則として小数点以下第 1 位で四捨五入した数値を記載しているため、設問ごとの各回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

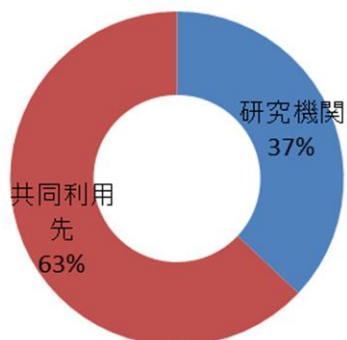
複数選択可能な設問においては、設問ごとの各回答比率の合計は 100%を超える。

5. 回答者の属性

※全ての回収票を集計、母数 27

(1) 回答者の所属先

KTAE およびトカット農業研究所の研究機関所属者 10 名（37%）、サムスン県及びアマシヤ県の機材利用者 17 名（63%）より回答を得た。

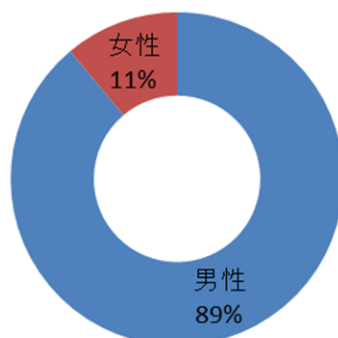


区分		機材利用先	利用機材	回収票数	構成比
全 体				27	100%
研究機関		黒海農業研究所	高所、乗用、歩行	7	26%
		トカット農業研究所	高所、乗用	3	11%
共同利用先	サムスン県	イルカドゥム地区	高所、歩行	2	7%
		チャルシャンバ地区	高所	4	15%
		テルメ地区	高所	1	4%
		ベズィルキョプル地区	高所	2	7%
	アマシヤ県	メルズイフォン地区	高所、乗用、歩行	3	11%
		ボガズキョイ地区	高所、乗用、歩行	3	11%
		イルヤスキョイ地区	高所	2	7%

※高所＝高所作業機、乗用＝乗用草刈機、歩行＝歩行型草刈機

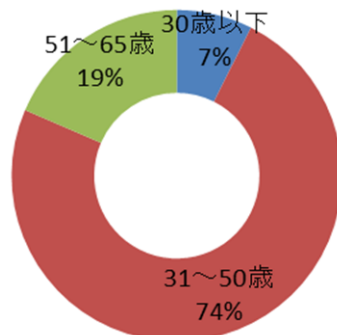
(2) 性別

男性 24 名（89%）、女性 3 名（11%）より回答を得た。女性の機材利用者 3 名の内訳は、KTAE の 1 名、サムスン県イルカドゥム地区およびアマシヤ県イルヤスキョイ地区が各 1 名であった。



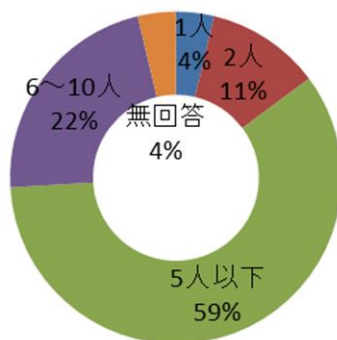
(3) 年齢

30歳以下の2名(7%)、31～50歳の20名(74%)、51～65歳の5名(19%)より回答を得た。



(4) 世帯構成

回答者の世帯人数は、単身世帯が1名(4%)、2人世帯が2名(11%)、5人以下の世帯が16名(59%)、6～10人の世帯が6名(22%)、無回答が1名(4%)であった。

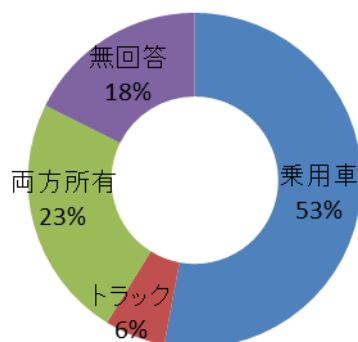


6. 経営内容

※共同利用先の回収票のみ集計、母数 17

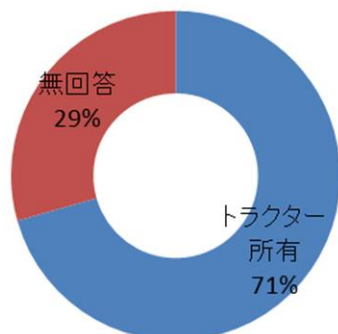
(1) 車両保有状況

乗用車およびトラック、いずれかの車輛を保有していると回答したのは、14名(82%)、無回答が3名(18%)であった。機材輸送手段となるトラックを保有していると回答したのは5名(29%)であった。



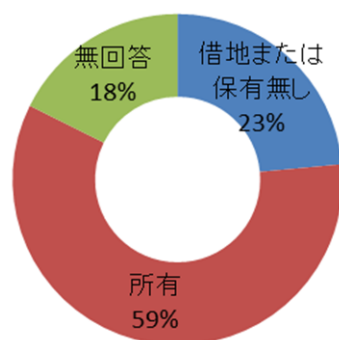
(2) 農業機械保有状況

トラクターの保有者は 12 名 (71%) であった。その他農業機械の保有状況としては、播種機、薬剤散布機を保有しているとの回答もあった。



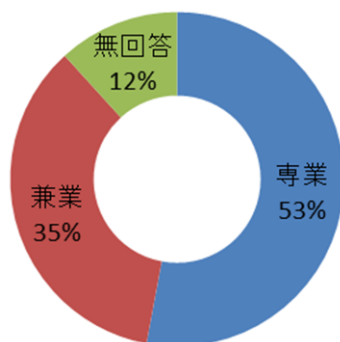
(3) 果樹園の保有状況

農地を所有していると回答したのは 10 名 (59%)、借地または保有無しと回答したのは 4 名 (23%)、無回答が 3 名 (18%) であった。農地所有者の平均所有面積は 5.3ha であった。



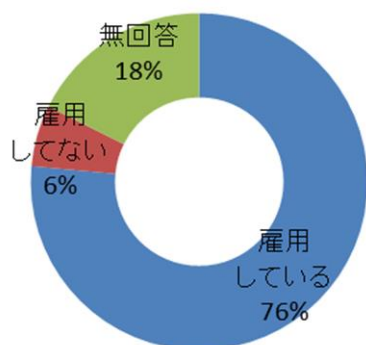
(4) 兼業状況

うち、専業と回答したのは 9 名 (53%)、兼業と回答したのは 6 名 (35%)、無回答が 2 名 (12%) であった。



(5) 季節労働者雇用の有無

季節労働者を雇用しているとの回答は13名(76%)、雇用していないとの回答は1名(6%)、無回答が3名(18%)であった。



(6) 栽培品目

機材利用先で栽培されている作物、販売先、販売単価について聞き取りを行った。生食用は青果市場、加工用は加工業者への販売が多い。

機材利用先	作物	販売先	販売単価 TL/kg
チャルシャンバ	桃(生食用)	青果市場	0.9~2.5
	桃(加工用)	加工業者	0.4~0.5
テルメ	りんご	青果市場	1.5
ベズイルキョプル	りんご	青果市場	1.5
メルズイフォン	くるみ	直販	20
	りんご	直販	5
ボガズキョイ	ナツメ	青果市場、卸業者	6
イルヤスキョイ	チェリー	青果市場	3
	桃	青果市場	1.5
	プラム	青果市場	1.5

(7) 男性と女性の作業内容の違い

性別による担当作業の差異について聞き取りを行った。収穫作業においては、男女で役割分担があることが分かった。作物の種類、作業内容に応じ分担していると思われるが、機械操作は男性が主に担う傾向が見られた。

男性	せん定、収穫、草刈、薬剤散布(収穫では高いところや枝の先)
女性	せん定、収穫、草刈(収穫では運搬、選別、箱詰め等)

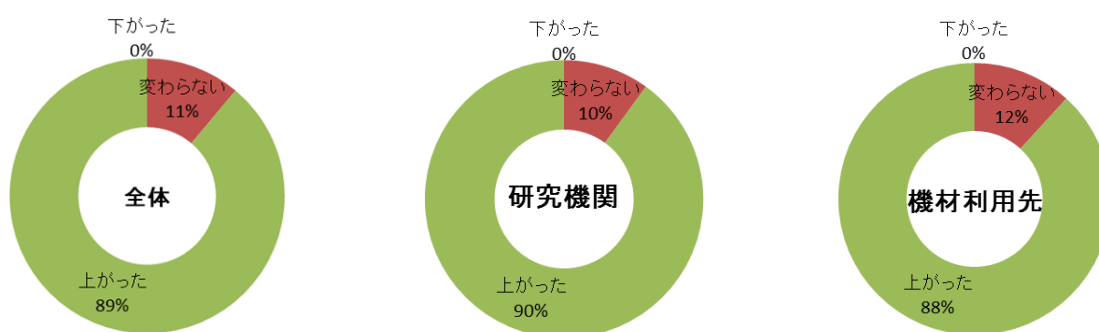
7. 設問別調査結果

※全ての回収票を集計、それぞれの母数は全体 27、研究機関 10、機材利用先 17

(1) 効率性向上について

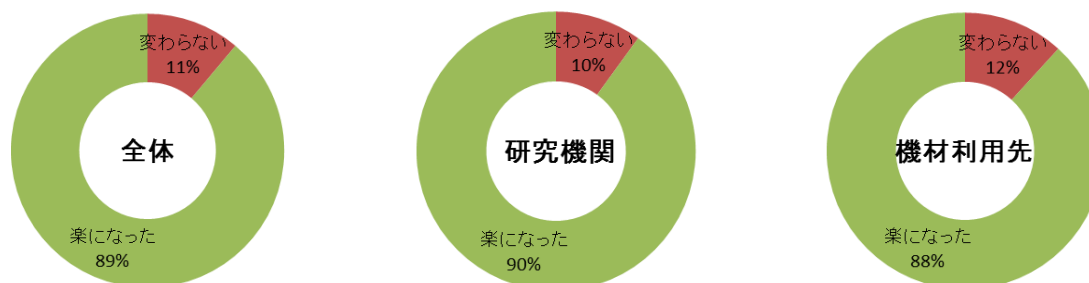
①実感度合い

「効率が上がった」という回答が 24 名全体の 89%を占め、研究機関および機材利用先において同様の傾向となった。



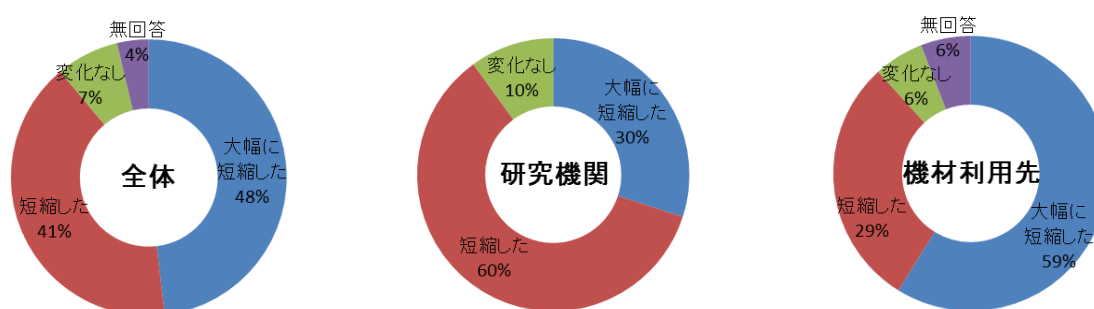
②労働負担

「楽になった」という回答が全体の 89%を占め、研究機関および機材利用先においても同様の傾向となった。



③時間短縮

全体では、「大幅に短縮した」と回答した 13 名 (48%) と、「短縮した」と回答した 11 名 (41%) を合わせて、作業時間が短縮したと回答した割合は 89%であった。



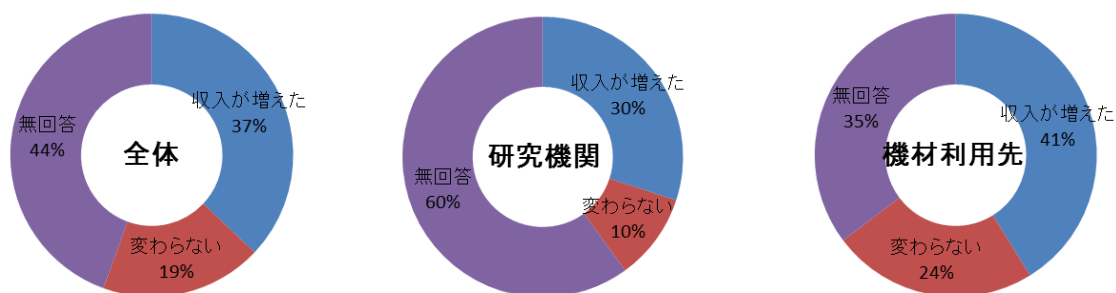
<回答者所感：効率性向上>

- ・高い枝になった実の収穫、伸びた枝を支柱に縛る作業、せん定が楽になった。
自分で昇降や脚立の移動をする必要が無いため、効果的だ。(ボガズキョイ地区)
- ・作業時間が短縮され、果実品質が良くなった(メルズイフォン地区)。
- ・高所作業機 1 台で 3~4 人分の仕事が出来たと感じた。現在 15 人で収穫作業をしているが、機材導入により 5~6 人に減らせる可能性がある。移動速度を速めて、最大積載重量を 1.5 倍程度に高めてもらえれば、さらに効率性は上がる。(イルカドゥム地区)

(2) 経済性向上について

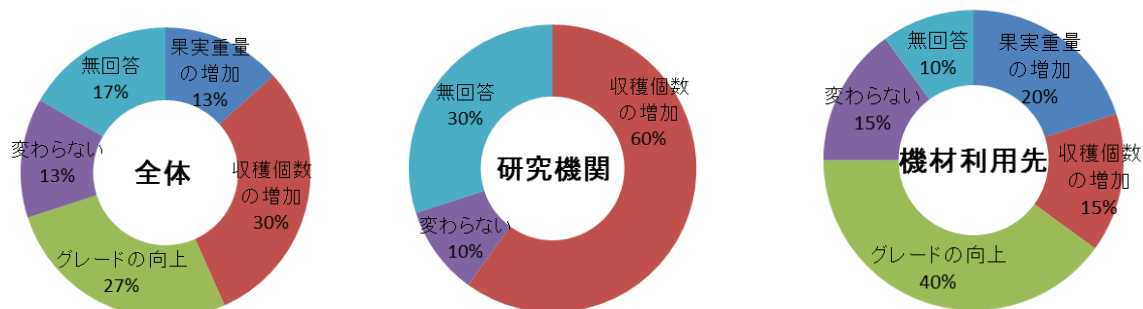
①収入

「収入が増えた」という回答が全体の 10 名 (37%) を占め、変わらないと回答した 5 名 (19%) を上回った。一方で、「無回答」が 12 名 (44%) と半数近くを占めた。機材利用による収入増加については、単年度の調査では判断しにくい事があると思われる為、収入が増加する要因を含め、今後の実証活動において、追加的な聞き取りや調査を行う。



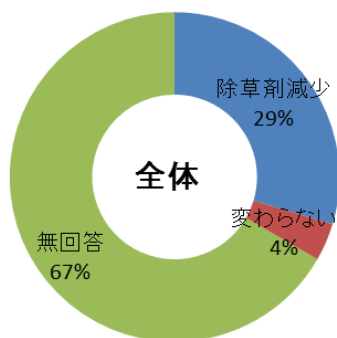
②収穫量増加、品質向上の実感

全体の回答では、「収穫個数の増加」が 9 名 (30%)、「グレードの向上」が 8 名 (27%)、果実重量の増加が 4 名 (13%) となり、収穫量増加および品質向上を示す回答が 70% を占めた。しかし、研究機関の回答においては、「果実重量の増加」、「グレードの向上」といった回答は無く、回答内容と割合において、研究機関と機材利用先でのバラつきが大きくなっている。機材利用にがもたらす好影響について一定の可能性は見いだせるものの、収穫量増加や品質向上に関しても、その要因を含め、今後の実証活動での追加的な聞き取り・調査を行っていくこととする。



③除草剤削減

「除草剤使用量が減少した」との回答が 8 名 (29%)、「変わらない」が 1 名 (4%)、「回答なし」の中には草刈機を使用していない回答者も含まれるため、次回は利用機材の種類別にアンケートを作成し、回答者を草刈機利用者限定にする。また、削減できた費用についても、聞き取り調査を行っていく。



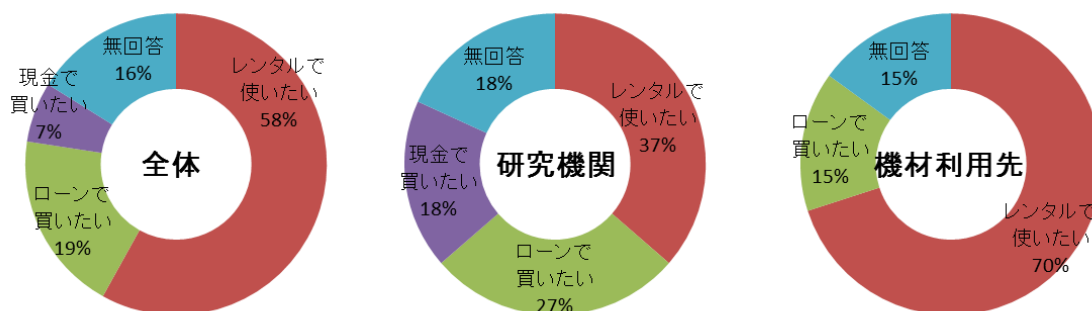
<回答者の所感：経済性向上>

- ・脚立だと木に立て掛けるので、どうしても多少枝が折れたり果物が傷んだりして収量が減るが、高所作業機を使用するとそれが無いので、その分は収穫量が増えていると言えるのかもしれない。(イルヤスキョイ地区)
- ・アンケートで「収入が増えた」と回答した理由について、①機材導入によって人手を減らせた事、②脚立では収穫できなかった一番上の果実が収穫できるようになって収穫量が増えた。(ボガズキョイ地区)

(3) 機材購入について

①機材購入意欲

全体では、「現金で買いたい」という回答は 2 名 (7%)にとどまり、「レンタルで使いたい」が 18 名 (58%)、「ローンで買いたい」が 6 名 (19%) となり、購入に前向きな回答が 84%を占めた。

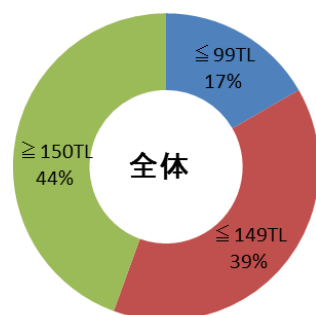


②レンタル費用について（非選択式、任意の金額を記載、母数 18）

前問において、「レンタルで使いたい」と回答した人に対し、希望する1日あたりのレンタル費用について質問した。1日あたり100～149TL¹との回答が7名（39%）を、同じく150TL以上との回答が8名（44%）を占めた。回答者全体の平均は、1日あたり127TLであった。

99TL以下と回答した3名（17%）は全てサムスン県チャルシャンバ地区の利用者。サムスン県の果実は、アマスィヤ県に比べ販売単価が低い傾向にある。また、チャルシャンバで初年度に対象作物とした桃は、枝が横に広がる樹形のため、高所作業機導入の効果が大きくなかった。

こうしたことから、果実の販売単価や、効率性・経済性向上の実感度合いが、生産者が負担可能な機材導入費用に与える影響が大きいと推察された。



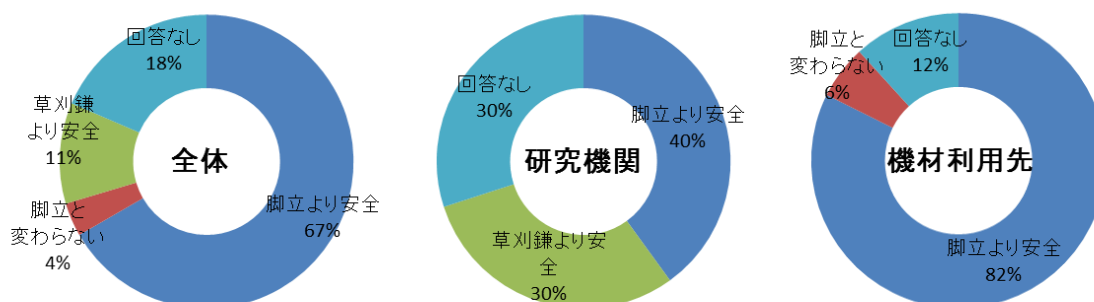
＜回答者の所感：機材購入意欲＞

- ・15,000TL／台程度の価格であれば、2台購入したい。（イルヤスキョイ地区）

(4) 安全性について

①機材導入前との比較

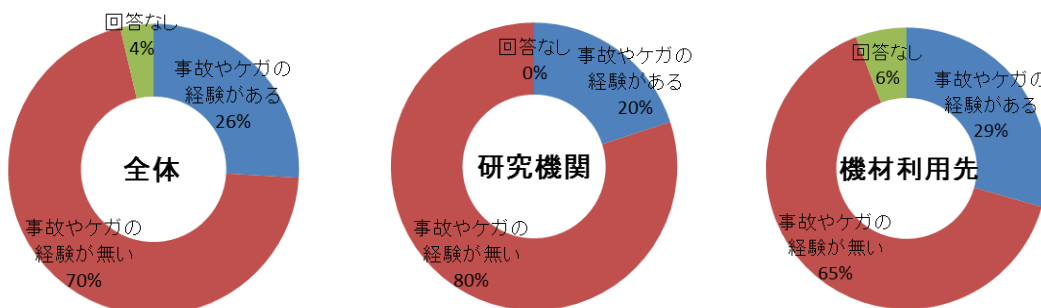
高所作業機と草刈機を対象に、対照機材として脚立と鎌を設定し、安全性の向上について質問した。「脚立より安全」、「草刈鎌より安全」と回答した割合が、安全性が「変わらない」と回答した割合を大きく上回った。



¹ ※1TL=31.807020円（2018年1月JICA精算レート）

②事故・ケガの経験の有無

全体では、「事故やケガの経験がある」が7名（26%）、「事故やケガの経験が無い」は19名（70%）、無回答が1名（4%）であった。

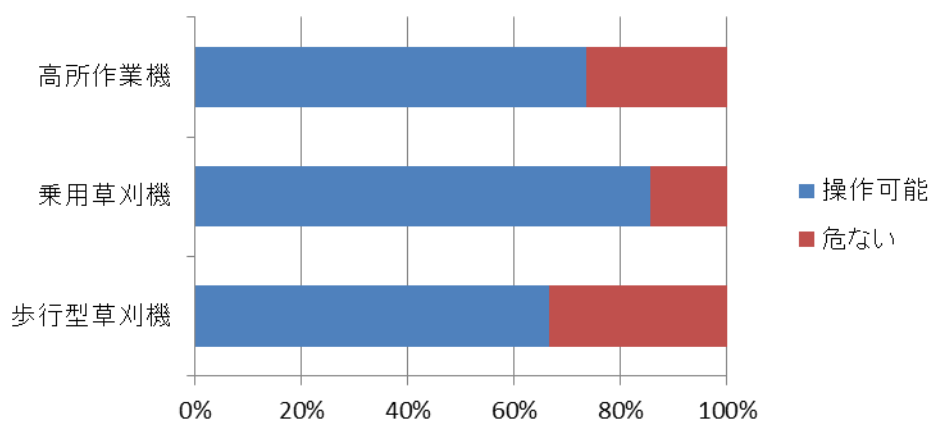


③女性・高齢者の機材利用

女性や高齢者による機材は操作可能か、それとも機材操作は危険かについて質問をし、無回答の2名を除く25名より回答を得た。それぞれが利用した機材について回答しているため、高所作業機、乗用草刈機、歩行型草刈機の3機種の内、2機種以上を利用した者もいるため、重複回答を含む。

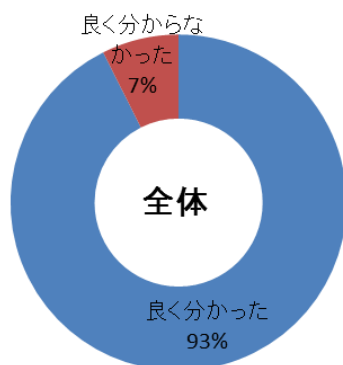
高所作業機について回答したのは19名、内14名（74%）が操作可能、5名（26%）が危険だと答えた。乗用草刈機について回答したのは7名で、6名（86%）が操作可能、1名（14%）が危険だと答えた。歩行型草刈機について回答したのは3名で、2名（67%）が操作可能、1名（33%）が危険だと回答した。

但し、女性や高齢者の機材操作が危険だと回答したのは全て男性であり、女性の回答者3名の内、2名は操作可能、1名は無回答となっている。



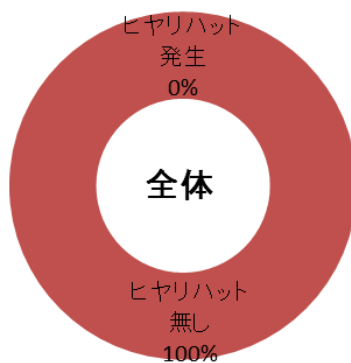
④警告ラベルの見易さ

警告ラベルが「良く分かった」との回答が 25 名（93%）、「良く分からなかった」が 2 名（7%）となった。トルコ国内でも一般的な CE マーキングに対応させたこともあり、概ね理解を得られていることが分かった。



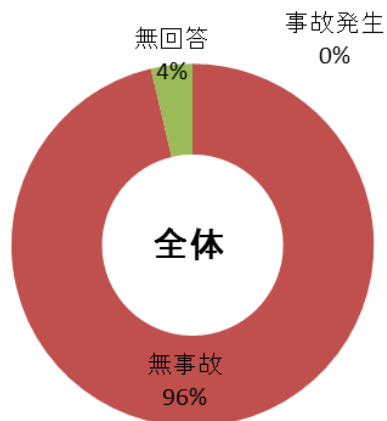
⑤ヒヤリハット体験の有無

機材利用中、事故に至らないまでも、一步間違えば事故となる可能性があったヒヤリハット体験があったとの回答は無く、発生は無かった。



⑥事故の有無

機材利用中の事故の有無について、「無事故」との回答が 26 名（96%）、無回答が 1 名（4%）であった。事故の発生は認められなかった。



以上

MEMORANDUM OF UNDERSTANDING
ON
VERIFICATION SURVEY WITH THE PRIVATE SECTOR FOR
DISSEMINATING JAPANESE TECHNOLOGIES FOR ORCHARD AND FIELD
MANAGEMENT MACHINES TO AGRICULTURAL COOPERATIVES IN
EASTERN RURAL AREA OF TURKEY
BETWEEN
BLACK SEA AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
AND
FUJII CORPORATION CO., LTD.

1. INTRODUCTION

This Memorandum of Understanding (hereinafter referred to as the "MOU") is entered into between the Black Sea Agricultural Research Institute (hereinafter referred to as the "KTAE") and Fujii Corporation Co., Ltd. (hereinafter referred to as the "FUJII"). The MOU provides the framework for proper and effective operation, maintenance and management of the Telescopic Boom Lifts, 4WD Ride on Mowers and Walk behind Mowers (hereinafter referred to as the "Equipment") after the handover to KTAE from The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

2. RECITALS

WHEREAS, the JICA, KTAE and FUJII signed on April 27th, 2016, an agreed Minutes of Meeting (M/M) for the purpose of working the project entitled Verification Survey with the Private Sector for Disseminating Japanese Technologies for Orchard and Field Management Machines to Agricultural Cooperatives in Eastern Rural Area of Turkey (hereinafter referred to as the "Survey");

WHEREAS, JICA in consultation with the Survey Team shall retain exclusive right over the use of the Equipment during the Survey implementation period regardless of the handover of ownership.

WHEREAS, utilization system of the Equipment after the Survey will be decided with the discussion among JICA, KTAE and FUJII at the end of the Survey.

WHEREAS, the Equipment will be handed over and transferred to KTAE, and KTAE will indemnify and hold harmless JICA and FUJII from any costs, taxes, charges, damages or otherwise arising from or in connection with the Equipment (including, but not limited to, its transfer or use), on or after the transfer of the Equipment, unless any product guarantee is provided by FUJII in a separate arrangement.

WHEREAS, should any damages due to active or passive negligence of the personnel of JICA, FUJII or KTAE arise in the process of implementing the Survey, each relevant party will be liable for the costs, damages or otherwise caused by such negligence of its own personnel, severally but not jointly, and indemnify and hold harmless the other parties.

3. MEASURES TO BE TAKEN BY KTAE

KTAE will take necessary measures to;

- (1) Limit the use of the Equipment only to the activities relevant to the purpose of the Survey during the Survey implementation period
- (2) Consult immediately with the Survey team in case of troubles, breakdown, or any unforeseen event during the Survey period
- (3) Utilise the Equipment always in a good condition, carry out appropriate management.
- (4) Take the lead in the lending of the Equipment to the Cooperatives for its use, management and operation.
- (5) Appoint managers who will be in charge for the Equipment safety management and its maintenance management. Maintenance management manager is a person who will implement technical maintenance instruction and machines management. Safety Management Manager is a person who will manage and raise the safety awareness and instruct the safe use of machines.
- (6) Operate the Equipment in a good condition by careful regular inspection and clean it after the operation.
When the maintenance and the repair are carried out, fill the contents of it in the maintenance record sheet and submit it to the maintenance officer.
- (7) Take the liability insurance with FUJII to Equipment and users. The Safety Management Manager is a contact person for the insurance related matters.
- (8) Assure the users must fill the content of the Equipment user record sheet and submit it to the Maintenance management manager.
- (9) Store the Equipment in an indoor lockable place. When storing, unplug the key and keep it in a safe place.
- (10) Transport the Equipment to test fields and Cooperatives by the track owned by KTAE.

4. OTHER RELEVANT ISSUES

- (1) Fuel fee for the Survey
 - a. The fuel for the use at KTAE test fields is for KTAE to bear.
 - b. The fuel for the transport of the Equipment is for KTAE to bear.
 - c. The fuel for workshop and/or seminar is for FUJII to bear.
 - d. The fuel for the use of the Equipment by Cooperative is for its users to bear.
- (2) Repair fee on the machine breakdown
 - a. Fujii will repair for machine breakdown occurred during normal use of machines. In case of emergency repair is needed, KTAE will support the repair.
 - b. User must bear the cost of repair in case of machine used other than the project (i.e. used machines for house repair etc).
- (3) Maintenance management fee (regular check-up, replacement of spare parts etc.)
 - a. Fujii will provide the spare parts required for these services during the project.
 - b. Implement workshop (seminar) for regular check-up, replacement of spare parts. Instruct users to be able to manage maintenance by themselves.
 - c. Fujii will support the best for the maintenance management.

5. MUTUAL CONSULTATIONS

Any major issues that may arise from or in connection with this MOU shall be resolved through mutual consultations by all parties concerned.

6. DURATION OF MOU

From the day of signing, until the day of the Survey completion.

Samsun, November 29, 2016



Dr. Kibar Ak
Director
Black Sea Agricultural Research
Institute



Mr. Hideo Kikuchi
Deputy General Manager
Fujii Corporation Co., Ltd.

24.05.2017

添付資料8

81CA-
BL-05

Yönetici _____

Kiralama Sözleşmesi Çatalarmut Muhtarlığı

1. Teslimat ve Kiralama Süresi

Teslim ve kiralama süresi, tarımsal makinenin depodan teslim alınmasından başlayıp depoya geri döndüğü tarihler arasını kapsamaktadır.

2. Kullanım ücreti

Makinelerin kullanım ve kira ücreti bulunmamaktadır. Bununla birlikte, kiralık makinenin nakliye ücreti, tükettiği yakıtın bedeli, doğal hasar haricindeki onarım ücretleri ve önemli miktarda kirlenmesi/tozlanması durumunda temizlik masrafları kullanıcıların sorumluluğundadır. Ödenmesi gerekli ücretler başvuru anında ödenir, diğer masraflar teslimat sırasında kontrol edilir ve ödenmesi istenir.

3. Güvenli çalışma ve yönetim yükümlülüğü

Kullanıcıların; kiralanacak makinenin emniyetli çalıştırması için Kooperatif/Birlik tarafından verilecek derse katılımları zorunludur. Ayrıca, kiralanmış makinenin kullanım kılavuzu dikkatle okunmalı ve talimatlara uyulmalıdır. Kullanıcılar makinelerin nasıl kullanılacağını ve güvenli bir şekilde nasıl çalıştığını anlamaları gerekmektedir. Kiralama süresi boyunca, kullanıcı; işçilerin çevresinde bulunan ağaç dalları, taşlar ve diğer engeller, yangın, eğilme/bükülme ve çiftlikteki diğer varlıkların emniyeti için dikkatli çalışmalıdır. Kiralanan makinenin dikkatsiz kullanımı, alkollü kullanımı ve trafik ihlali yasaktır. Bunlara ek olarak, kullanıcı; kiraladığı makinenin iyi yönetilmesinden/çalıştırılmasından sorumludur.

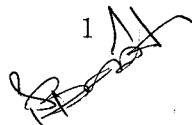
Buna ek olarak, kullanıcı kiralanmış makinenin iyi yönetilmesini ve kullanma sorumluluğunu üstlenmektedir. Kullanıcılar kiraladıkları makineleri, izinsiz üçüncü şahıslara kiralayamaz, kullandıramaz, amacı dışındaki işlerde kullanamaz (tarım dışı işler, örneğin çatı tamiri vb.).

4. Nakliye, Yakıt ve Sarf Malzemeleri

Kiralanan makinenin tüm taşıma masrafları başvuru sırasında kooperatif/birliğe ödenir. Makinelerin yakıt deposu kooperatif/birlik tarafından doldurulur, makine kiralayana teslim edilir. Makineyi kiralayan, kiralama süresi sonunda makinenin yakıt deposunu dolu olarak teslim eder. Eğer kullanıcı, kiralanmış makineyi kendisi taşırsa ayrıca taşıma ücreti ödenmesine gerek yoktur.

5. Tamir ve Onarım Ücreti

Fujii Şirketi, normal kullanım sırasında meydana gelen arızalar için kira süresince kiralık makinenin onarım ücretini üstlenecektir. Küçük arızalar sahada onarılabilmeyle birlikte,

1


ciddi arızalar KTAE’de tamir edilebilir.

6. Kiralanan Makinenin Temizliği

Kiralanan makinenin temizliği kullanıcı tarafından her defasında yapılmalı ve kiralanan makine temiz olarak geri teslim edilmelidir. Ana gövde ve aksesuarlardaki kayda değer kirlenmeler için kullanıcı temizlik ücretini ayrı olarak ödemek zorundadır.

7. Makinenin Çalıştırma Kaydı

Kullanıcı kiralanan makineyi kullanırken, çalışma kayıtlarını, işin yapıldığı tarihi ve saatini, çalışma süresini, yapılan işi vb. bilgileri doldurmak ve kiralık makinenin iadesi sırasında Kooperatife/Birliğe vermek zorundadır.

8. Anketlere cevap verme, kişisel bilgilerin kaydı ve bu bilgilerin kullanılmasına izin verilmesi

Kullanıcı kiralama anında verilen anketle işbirliği yapmayı kabul edecektir. Buna ek olarak, kullanıcı adını soyadını, adresini, telefon (cep telefonu), gelirini, tarla arazisi miktarını ve anketin içeriğinde bulunan diğer sorulara cevap vermeyi ve bu bilgilerin JICA raporunda kullanılmasını kabul edecektir.

9. Sigorta

Fujii Şirketi ve Karadeniz Tarımsal Araştırma Enstitüsü, projeye katılan Bireysel Kullanıcılar / Kooperatifler /Birlikler/ Belediyelerin, makineyi kiralayan ve kullanan çiftçilerden arazi çalışmaları sırasında kiralık makinenin neden olabileceği ve makineleri kullananların yaralanmalarını telafi etmek için İnsan Koruması gibi uygun bir sigortaya sahip olmasını talep edecektir.

Üçüncü şahıslar için meydana gelen yaralanmalar proje katılımcıları ve zarar gören taraflar arasında çözümlenmelidir.

10. Kaza, kırılma veya kopma meydana geldiğinde alınması gereken önlemler

- Kaza durumunda alınması gereken önlemler

- (1) Yaralı insanlara yardım ediniz.
- (2) En yakın kolluk kuvvetine başvurunuz.
- (3) Kooperatif/birlik yetkililerine aşağıdaki bilgileri bildiriniz:

Kooperatif/Birlik Yetkilileri: Buraya ilgili kişilerin iletişim bilgileri yazılacak

1. Olay yeri ve zamanı,
2. Kazanın nedeni ve durumu,
3. Mağdurun adresi (davacı), adı soyadı ve sağlık giderleri için ayrıntılı fatura,
4. Kiralık makinenin modeli ve seri numarası,
5. Hasar derecesi ve kapsamı,

6. Kiralık makineyi korumak veya yeniden onarmak için alınan ilk yardım tedbirlerinin neler olduğunu gösteren belgeler. Kaza başına bir kez işlem yapıldığı için eğer bir kaza meydana gelirse sizinle iletişime geçilecektir.

11. Eğer kiralık makine ile işiniz planlanan zamandan önce biterse veya makineyi kullanma zamanınızda bir değişiklik olursa veya kiraladığınız makineyi başta belirttiğinizden başka bir yerde kullanmanız gerekirse lütfen Kooperatif/Birlik yetkilisine haber veriniz.

Birlik Yetkilisinin Telefon Numarası:

12. Yukarıda ifade edilenlerden başka bir konu olursa, Karadeniz Tarımsal Araştırma Enstitüsüne haber veriniz ve direktiflerine uyunuz.

Yukarıda yazılanları kabul ediyorum.

Kullanıcının Adı Soyadı ve Adresi

İdris Berat GÜDELOĞU
Çatolarmut Mahallesi
Muhtarı
İmza : 